

令和元年度 第3回（仮称）南河内中学校区義務教育学校設立準備委員会実務作業部会
スクールバス運行管理部会 議事録

審議会等名 令和元年度 第3回（仮称）南河内中学校区義務教育学校設立準備委員会実務
作業部会スクールバス運行管理部会

日 時 令和元年11月15日（金）午後6時30分～午後8時35分

会 場 南河内中学校 会議室

出席者 蓬田優 部員、宇賀地平 部員、川田玲子 部員、河野美穂 部員、
飯笹亜希子 部員、稲見俊幸 部員、鶴見昌佐子 部員、森岡紀子 部員、
人見佳代子 部員、星野良子 部員、橋本俊明 部員、秋山貴子 部員、
近藤善昭 部員、田澤孝一 部員
【欠席委員】松本裕子 部員

市側出席者 （事務局）星野友保 学校教育課長補佐、森口哲二 同課主幹、白石孝子 同課指
導主事、上野保久 同課小中一貫教育統括コーディネーター

公開・非公開別 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開

傍聴人 0人

議事録（概要） 作成年月日 令和元年11月18日

1 開会（星野課長補佐）

2 部会長あいさつ（蓬田部会長）

こんばんは。午後6時30分という時間帯でお疲れかと思いますが、第3回のスクールバス運行管理部会にお集まりいただきましてありがとうございます。10月の地域・保護者説明会の報告、停留所・運行ルート検討ということで、資料に基づいて説明していただきたいと思います。10月の下旬に3日間ほど、第2回の保護者・地域説明会が開催されたわけですが、私は、薬師寺コミュニティセンター会場に参加させていただきました。その中で、今日も、ご提言というか、自治会長様宛の提言書が配布されておりますが、非常に、回を重ねるごとに具体化してきて、義務教育学校の設立に関して、皆さん方がこちらに向けてきているという感じがします。これから更に具体的にというか、差し迫ったご意見、ご要望が出るとおられます。したがって、このスクールバス運行管理部会も、今までの2回の会議の中で、ある程度こういう方向でということで案を示してありますけれども、そういった案も、基本的には変わりはないが、部分的には若干修正、または、方向をもう少し柔軟に検討しなければならないこともあるかもしれません。しかし、基本的に区域はそれを動かしてしまうと全体が崩れてしまいますので、様々なご意見を頭に置きながら対応をしていかなければならないと思いますので、皆さんには忌憚のないご意見をいただきながら、より良い方向に持っていきたいと思います。よろしくお願ひします。

3 報告

（1）地域・保護者説明会の報告について

（蓬田部会長） 報告として、地域・保護者説明会の報告について、事務局より説明をお願

いします。

(森口主幹) [資料1 南河内中学校区義務教育学校に関する地域・保護者説明会結果報告書について説明]

(近藤部員) [交通渋滞緩和策について補足説明]

本日、A4用紙1枚の資料を用意させていただきました。この資料は、初回の吉田西小学校での地域説明会には間に合いませんでしたが、2回目、3回目の説明会の時に配布させていただいた資料です。送迎場所について、以前から様々なご意見がありました。その渋滞解消の対策として、義務教育学校の敷地内では、車両の動線と歩行者の動線が重なる欠点があるので、南河内公民館、南河内図書館の駐車場を利用していきたいという説明をいたしました。併せて、その送迎場所から学校まで連絡する道路と学校の南側の道路について、スクールゾーンの指定を行い、時間帯の車両の制限及び横断歩道等の設置等についての計画案の説明を行いました。それに対して、「送迎場所については、学校の敷地内を使えるのではないか」という意見と、スクールゾーンの道路の整備につきまして、「周辺の住民に説明をしてから、こういう話は出すべきではないか」という意見等がありました。これらの意見について検討した結果、送迎場所については、学校の敷地内を使用すると、安全面の確保が十分にできないので難しいということになり、この図面に示しているとおりの、公民館・図書館の駐車場を使っていきたいということになりました。また、スクールゾーンの制限については、時間による車両進入の制限の他に、例えば30キロ速度制限や、駐停車禁止等の制限がありますが、どういう方法がいいのか警察と協議しながら今後決定していきたくて考えています。これら交通渋滞緩和策につきまして、委員の皆様のご意見を伺いたしたいと思います。

(蓬田部会長) 薬師寺コミュニティセンターでの地域説明会で、中学校付近で中学校南側道路を生活道路として使われている方のご意見として、「順序が逆である」というご意見があったわけです。今回は、あくまでも、スクールゾーンを決めるというのではなくて、案として、案の案として示したつもりだったので、やはり、生活道路として利用されている人にすれば、勝手に決めたと解釈されたということでしょう。その辺に事務局とのとらえ方が若干違ってしまい、説明に時間がかかったわけです。その中で、周辺住民への説明が先ではないかというようなご意見をいただきました。それらについてはどう対応しますか。

(近藤部員) 今後、警察と協議し、ある程度の方向性が出た段階で、住民への説明を行い、決定していくことになると思います。送迎場所についてとか、スクールゾーン指定による規制について、部会の皆様のご意見を伺えればと思います。この資料をもとに説明するのは、この部会では初めてです。吉田西小学校では資料なし、南河内東公民館、薬師寺コミュニティセンターでは資料ありで説明しました。説明会の時もお願ひしたのですが、送迎車がかなり多いことで周辺住民が非常に困っているということを理解して、できれば、送迎については最小限の範囲でお願いしたいと思います。その上で、どうしても送迎が必要な場合は、公民館の駐車場でお願いしたいと考

えています。その上で、規制の種類については今後検討になりますが、スクールゾーンとして周辺の道路を規制していきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(田澤部員)

スクールバス運行管理部会は、雨天時の渋滞緩和策を担当する部会かというところも言えないのですが、スクールバスの運行と雨天時の送迎車両の問題は切り離せない問題ですので、できれば、部員の皆様のご意見をお聞きしたいと思います。例えば、地域の方のご意見の中には、どうしても子どもさんを送らなければならない場合に、「一滴たりとも子どもたちを濡らしたくはない」、「少しでも学校の近くに降ろしたい」というのが親心なのだから、公民館の方に降ろしたのでは濡れてしまうのではないか、というご意見もありました。それが本当に保護者の方々の意見として大勢を占めているのかどうかを、知りたいと思います。

教育委員会としては、子どもたちには、なるべく歩いて欲しい。文科省で示しているのは4 km以内は歩いて通学させるということです。その中で、子どもたちに体力を付けたり、登校班通学により子どもたちのリーダー性を培ったりしているところでは、それが今回、再編に伴って、どうしても遠くの学区から来てもらわなくてはならないということになるので、市としては先行事例の国分寺西小区のスクールバスの運行にならって、本地区も同じような形で2 km以上の児童が乗車対象という提案を地域説明会で説明したという経緯です。国分寺西小区では、全戸がほぼ2 kmよりちょっと遠い所にあるので、全員スクールバス利用ということになっています。これまで、3会場で地域説明会を行いました。参加された方々の世代は、祖父母世代の方が多い印象がありました。「雨風にさらしたくないので、南河内公民館の駐車場から学校まで地下通路を作って欲しい」というご意見もいただいています。そういう中で、子どもを歩かせるのに2 kmは遠いと考えているのか、いや、そのくらいは歩いた方が子どものためにはいいと考えているのか、保護者の方々の世代の皆様の生の声をお聞きしたいと思います。

(川田部員)

現在も送り迎えをされている中学生がけっこういるということですか。自転車通学の子も自宅に自転車を置いて送って来てもらっているのですか。

(秋山部員)

全員ではありません。学校周辺から来る生徒は徒歩で通学しています。調べた所によりますと、雨の日に送迎されているのは78名います。現在生徒数が210名なので、全体の3分の1は送られてきます。どちらかというと、危ないからというよりも、濡れるのがいやという感覚です。祖父母世代の送迎が多く、できるだけロータリーを使ってくださいとお伝えしているのですが、路上での送迎になってしまっています。傘を持ってこない生徒もいます。自分の家の車を発見しても、そこまで行かずに、順番に近づいて来るのを校舎の庇ぎりぎりまで待っていて、最も近づいたときに飛び乗るという現状です。昨年度までは、たびたび学校に苦情が来ていましたが、本年度は、職員が声かけや交通整理をしているので、以前よりは苦情もなくなりました。

(川田部員)

そうすると、開校したら、吉田西小と吉田東小のスクールバスに乗って行

く児童はいいとしても、薬師寺小の児童の一部は車で送迎ということも考えられますね。

(近藤部員) 薬師寺小も調査をしてもらったのですが、350名中180名が送迎されているというデータがあります。それらが全部徒歩通学になるかどうかはわかりませんが、小学校と中学校とを合わせるとかなりの数が送迎されるということが予想されます。

(秋山部員) 近隣の方からの話ですが、「自転車だけではない。歩いている子の飛び出し。歩き方が悪い。そちらの方が危ない。」等々あって、「車に乗っていると、飛び出しの方が怖いです。ふざけながら「きゃーっ」と出られる方が、怖いです。そういう場面が結構あるのです。」ということ、何度か言われました。その辺も十分注意させなくてはいけないことだと思います。近隣の人が心配されるのはわかります。

(森岡部員) 中学校に自転車で来ている子については、「雨だと危ないから」という理由で親が送っていると聞いたことがあったのですが、雨の日に、カッパを着て自転車で登校する際に、危ない目があったということはあるのですか。

(秋山部員) 雨の日に何かあったかという、4年間南河内中学校に勤務していますが、一度もありませんでした。ただ、普通に乘っていて転ぶということが4月頭書に多くありますが、雨だからということではないと思います。その前に送迎によって回避したというのが現状であるかもしれませんが。一番遠い子は、吉田十文字交差点のコンビニエンスストア先から、雨の日でも自転車で毎日登下校している生徒もいます。ですから、それぞれのご家庭の考え方であると思います。また、三王山の先の方面から来る生徒で、「一緒に来る友だちが休むと一人になってしまうので、送っていきます」というご家庭もあります。そういう保護者の思いを考えると、絶対だめですとは言えないし、送らないでくださいとは言いきれない現状もあります。ましてや変質者が年に一人ぐらい出る時がある中で、その情報を聞けば送り迎えをしたいという気持ちはわかるので、だめとは言えません。もう一つお伝えしたいことは、南河内図書館や南河内公民館から生徒たちが館内で騒いでいて、お叱りをいただいたことがあるということです。

(近藤部員) こういう送迎場所とか、スクールゾーン規制等の検討においては、保護者の皆様の協力をいただかないと問題は解消しないと思います。

(蓬田部会長) その他ありますか。まだまだ協議していかなければならないことが多々あると思いますが、今後もこういった意見を述べる機会があると思います。とりあえず先に進めたいと思います。

4 議題

(1) 停留所・運行ルート検討について

(蓬田部会長) 議事に入ります。では、まず、地域・保護者説明会におけるご意見について、事務局が項目ごとにまとめておりますので、説明をお願いします。

(森口主幹) [資料2 地域・保護者説明会（令和元年10月）におけるスクールバスに関する質問・意見に対する回答について説明]

(蓬田部会長) 乗車に関する事で何かありましたらお聞きしたいと思います。

(田澤部員)

先ほど事務局からの説明の中に、自治会長さんからの署名の件があったと思いますが、そのことについて、先ほどと同じように、ぜひ部会の皆さんから生のご意見をいただきたいと思っています。この自治会長さんの提案については、34自治会があって、そのうちの32の自治会長さんの署名をいただいているということで、ご意見として伺っています。内容としては、先ほど読み上げた通りです。提出に来られたときも「自治会長さんから署名をもらった」というだけで、「地域の方に全部下ろして意見を聞いているということではない」ということは聞いていますが、自治会長さんからのご意見ということなので、重みはあるかと思えます。皆さんの意見をいただきながら、この部会でも検討しなくてはならないということで、今日、その資料をそのままお示ししました。最後に回収しますので、ご了承くださいたいと思います。

その提言の中で、私たちには全くそういう考えはなかったのですが、今回、この部会でも検討してきた中学校から2kmの線が、今まで南河内地区としてやってきた地区を2分するような感じでの線引きになっているのではないかというようなご意見としていただきました。吉田西小、吉田東小の児童は全部スクールバスに乗れる範囲に入っているが、薬師寺小の児童は、北側の遠い部分くらいしかスクールバスに乗れる範囲に入っていない。更に、ご提案としては、バス停を何カ所かに分散し、基本は今通っている学校が集合場所。そこにスクールバスが迎えに行く。薬師寺小については、学校に入る所が狭いから薬師寺コミュニティセンターを使う。そこに集まって、もし保護者の方が送迎するとしたら、そこに子どもを降ろす。義務教育学校の周りには車両は入らないので、懸案の交通渋滞は防げるというご提案です。ただ、晴れている日はどのようなお考えなのかと尋ねると、「晴れている日は歩くのだ」ということでした。雨の日にはスクールバスに乗って、晴れている日は歩くということ、スクールバスの契約等の点で複雑になってくるので、それが現実的であるかどうかというのは、検討が必要になってくると思います。また、スクールバスの台数等について、ざっと試算をすると、最大9台のバスが必要になります。それに、2km以上の範囲を撤廃して全員が乗るようにすると、280名程増えます。現在利用対象者が180名程の想定で9台としていますので、それが、280名増えると、倍以上台数が必要になります。例えば、吉田西小で考えますと、70名を輸送するのに、大型バス1台とマイクロバス1台ということになります。大型バス1台をスクールバス契約しますと、大型はマイクロバスの3倍の値段になります。乗れる人数は倍になりますが、コストは3倍。そうなりますと、今約6,000万円の見積もりで9台を年間動かすという考えでやっていますが、全部マイクロバスで対応した場合には、単純に見積もっても2億円以上かかる計算になります。もう少し台数を削って考えても、1億円は超えてしまう試算になってきますので、コスト的には厳しい状況です。自治会長さん方は祖父母世代の方が多いということもあるので、本日出席されている部員の保護者の方々に、この考え方で運行したとき、特に2km以内の方で、どのくらいの方がスクールバスを利

用しようと思うかという所も、もしそういう対象の方がいたらご意見をいただければ、検討の材料になると思います。自治会長さん方の意見なので、重くは受け止めなくてはならないと思いますが、部会として、最初に2km以上ということで検討して出したということもあるので、2km以内もという意見に対して協議すべきかと思います。当然境界線上の所については、個別に相談等しなくてはならないと思います。以上のことについて、ご意見をいただければと思います。

(蓬田部会長)
(飯笹部員)

いかがですか。今のお話を伺って、薬師寺小の保護者の方いかがですか。仁良川上在住ですが、個人としてはこの距離ですし、スクールバスには乗らないと思っていました。今の学校の登下校も、基本的には何キロだろうが歩くものだと思っていましたし、こちらに引っ越してきましたが、ちょっとの雨でも送り迎えしているのでびっくりしています。我が家は子どもを歩かせているのですが、びしょ濡れで帰ってきて元気ないなと思っていたら、他の友だちは送り迎えだったということでした。子どもには雨の日に歩くのは嫌だと言われたのですが、子どもにはいい経験だと思うと共に、歩くのは普通であると我が家では思っています。そういう考えなので、地下道を作って欲しいという考えがあるのも驚きです。昔から本地区は送り迎えがあったのかなとか、事故か何かがあったのかなと思ったりします。ちょっとの雨でもお迎えということについては、疑問に思っています。

(橋本部員)

私は、この地区に長く勤務しており、薬師寺小にも12年お世話になりました。学校からは、「できるだけお子さんを歩かせてください」と言うのですが、仁良川下辺りのちょっと遠い所は、今は歩道もかなり整備されて、安全にはなっていますが、クランクから向こうの辺りは歩道もありませんでした。そんな時代は安全のため、一本中の道を通ってはいたのですが、「先生、そうは言われても、遠くて車も通るし危ないよね」と保護者の理解は得られませんでした。それが、ずっと続いているのだなと思いました。

(河野部員)

仁良川下ですが、雨が降ると、子どもたちも歩こうと思っていません。今、娘は5年生ですが、1年生で入学したときには上の学年の子が少なかったのですが、娘の学年辺りからすごく増えました。登校班に7人くらい1年生が入ったので、さすがに上の子が少ないから連れて行けないということで、最初から、基本、雨が降ったらもう送りにしてくださいということになってしまいました。そういうこともあって、子どもたちもその流れができて変えられなくなってしまったと思います。私としては、娘も5年生で、学年が上がってきて子どもの数も増えていますので、極力歩かせたいと思うのですが、後は、個人のお家の考え方になるのかなと思います。個人的には歩かせたいのですが、現在、班長の親が送りたいと言えば送ることになっています。いろいろな保護者の意見もあると思いますが、個人的には歩いてもいいと思っているし、ちゃんとボランティアについてくださる方もいらっしゃるの、そんなに問題ないような気がしています。確かにスクールバスが近くで動くよと言われてたら、私も乗せたくはなると思っています。雨の日に、薬師寺小は本当に送りが多いので、送っていくと大渋

滞に巻き込まれて、送って帰ってくるだけでも結構時間がかかり、すれ違いで危ないときもあり、できれば送りなどしたくないと思っています。今度は近くなるので、極力歩かせたいと思っていますが、それでも、あまりに雨が降っていると、何となく送ってあげようかなという思いも出てくると思います。極力、何もない限りは歩かせたいと思います。

(田澤部員) 登校班の話が出ましたが、この前、地域説明会をやった後に、東田中のご婦人から電話をいただいて、「家の孫が通っている所は4人しかいない。そのうち、一人か二人が学校を休んでしまうと、二人ぐらいになってしまうので、登校班が組めなくなってしまう。そういう時は、谷地賀の方から歩いてくる子たちと合流させてもらって登校している」ということでした。登校班が組めるかどうかは、かなり大きなウェイトを占めるのかなと思います。今のお話でも、どなたかが送っていくということになると、登校班の人数がどんどん減っていき、やはり、ある程度の集団登校でないと危険性もあるので、「じゃあ、うちも送るか」ということになっているのかと思います。その時、「このくらいは歩かせてもいいのではないかと皆さんが同じような考えになっていただければ、歩いて登校できるのではないかと思います。私は石橋の方を歩いて通勤していますが、石橋地区の子どもたちは遠くの方から歩いています。雨の日でも班長さんを先頭に傘を差して歩いている状況です。ちょうど登校時間近くに会うのですが、私が通ってくる古山小の回りで、渋滞している場面を見かけたことはありません。吉田西小や吉田東小ではどんな感じなのですか。

(星野部員) 吉田東小は、雨の日はほとんど送ってきます。人数が少ないので、渋滞することはなく、みんなきまりを守って送ってくださっているの、渋滞はありません。

(川田部員) 吉田西小では、森岡さんも私も西坪山で、学校まで2.5km以上あるので、雨の日は、地区長さんが車だと言うと車での送りになります。我が家は小学6年生と3年生の兄弟がいるので、みんなが車で送って行っても、最低限2人、兄弟で行けるので歩かせることもあります。送り迎えをしてしまうので、今、子どもたちは傘を差して歩くということが少ないと思います。濡れない歩き方とか、傘のさし方を学ぶのは、この時期でないとできないことだと思います。大人になってからは、わざと水たまりには入らないでしょうけれど、学校の帰りに水たまりに入ってビチャビチャになった記憶や「あのとき楽しかったよね」という記憶がないまま大きくなっていき、そのまま中学生になって、たぶんカッパは着ないということにつながっていくのではないかなと思っています。子どもの頃、カッパを着て嫌な思いして中学校に行った記憶があります。スカートだったので、カッパのズボンがもこもこして大変だった記憶です。雨の日でも、送られたこともなかったし、小学校も、どんな台風の時でも歩いて行った記憶があり、そのような中でも「メリーポピンズだ」と言っはしゃいだことが、とても楽しかった思い出として残っています。そういう経験が、今の子どもたちは、全くないかなあとと思います。基本的に、私も子どもたちには雨でも歩かせたいと思います。ただ、防犯の面から考えて、車になってしま

うのは仕方がないかとも思います。来年兄が中学校に上がるので、4年生になって、一人になったらさすがに2.5 km以上を歩かせるというのはどうかと考えてしまいます。本当は歩かせたいのですけれど、「危ないよね」と義理の母に言われてしまうので、その辺は家庭の方針や事情によると思います。

(森岡部員) 何かあってからでは遅いので、できることはやるという考え方で送っています。見守りが少ないとかほとんどいないので、もう少し見てもらえる人がいれば安全に一人でも登校できると思います。今は、待ち合わせ場所まで一人で行けるという安心がない状況です。

(蓬田部会長) 今、交通の問題とか、変質者の問題とか、そういった昔は考えられないようなことが、日常茶飯事的に起きているような状況です。そうした状況を考えた場合に、また、今の話を聞いて、果たして2 km圏外としっかりと決めてしまっているのかという疑問が出てくると思います。その辺の所を含めて、皆さん方からいろいろな意見を伺うことができれば、ありがたいと思います。基本的には2 km以上の児童の利用ということで決めましたので、詳細を詰めていきたいと思いますが、現状、社会の状況が変わってきてしまっています。森岡さんが言うように、「何かあったら」という考えが先に出てしまい、送って行ってしまふ。雨の日には、危険度が高まるので、そういう場合にはどうするかとか、そういった視点・観点から皆さん方に考えていただいて、最終的にはこの部会の統一の見解を図っていききたいと思います。

(秋山部員) 有料にするという考えはありませんか。1,000円程度の自己負担があってもいいという考えはないのでしょうか。送迎は、運転できる若い祖父母が多い。その関係もあって、つつい手を出す。孫たちも、祖父母に電話をしていることが多い。親は、午後3時半とか4時半には迎えに来られない場合が多いので、そんなときは祖父母が迎えに来るという状況です。無料は決定事項であるということならば仕方ありませんが。自己負担があってもおかしくはないと思います。

(田澤部員) 有料についての意見は、自治会長さんの提案にもありました。有料でやった場合、乗れる子と乗れない子に差が出るという意見を受けてのことでしょうか。

(秋山部員) 1 km圏外にするけれども、全員一律1,000円。遠くても近くても、一律1,000円。

(稲見部員) そうしたら、乗らないと思います。小学校1年生から6年生なので、普通は歩かせると思います。バスは出るけれど、有料ですといったら、結局、祖父母がいれば送って行ってしまふと思います。

(田澤部員) この近辺ではありませんが、一部保護者が負担という地域もあります。その負担をいただいて運営している所はありますね。しかし、今の話のように、「有料なら乗らない、送って行く」となって、余計渋滞になる可能性もありますね。文部科学省がいう4 kmで地図に円を描くと、一番南の端と一番北の端が一部抜けるくらいで、南河内中学校区はほとんど入ります。全国には4 km以内ならば歩いて通っている小学生はいくらでもいるとい

う状況です。今回、再編もあるので、更にその半分の2 km、30分以内だったらどうでしょうという提案でした。ただし、それが1 kmになると、かなりの人数が対象者になると思います。一番多い仁良川地区では100人～150人以上は対象になり、乗らない児童の方が少なくなってしまうかもしれません。

(蓬田部会長) 行政として打ち出す場合に、有料という制度をとるのかのというと、実際にはとれないと思います。

(田澤部員) 実際に、国分寺西小区は無料でやっていますので、そちらとの関連も出てきます。まだ計画にはありませんが、もしも今後再編される地区や学校が出てきた場合に、こちらの事例がスタンダードになっていくと思いますので、市としては全体を見て検討させてもらいたいと思います。

(近藤部員) 国西小区は全員がスクールバスに乗って国分寺小学校に通っていますが、国分寺小学区でも、3 km以上の児童も歩いてきている現状です。やはりそういうことを考えると、今回の義務教育学校が2 km以内でもいいよとなった場合に、市内で他の学校との不公平が出てきてしまうのではないかという懸念があります。

(田澤部員) 古山小も、3 km、4 kmを歩いてきている児童がいます。

(近藤部員) ここだけというのではなく、我々は、市内全体を見ないといけないということもありますのでご理解いただきたいと思います。

(蓬田部会長) 自治会長連合等でも、ご理解していただくというので、対応していかねばなりませんね。

(田澤部員) 今後、スクールバスを検討する場合も、体力の部分が懸案になっています。スクールバスのバス停を検討する際にも、わざと歩くように集合する場所を選んでいくような地域もありまして、それは参考にしたいと思います。やはり、完全にドア to ドアでやりますと、なかなか学校の体育の授業だけでは体力が付きません。そういう所も教育委員会としては心配している所です。近い子と遠い子が出てしまいましたが、バスに乗る前に、ある程度の距離をバス停まで歩くことにすれば、多少なりとも普段から歩く距離は確保できるのではないかと思います。体力の維持ということも含めて、できれば、2 km以内の児童には歩いてもらえるとありがたいです。今回、自治会長さんたちのご意見ではあるのですが、地域の方皆さんに聞いたわけではないということもあったので、部会の皆さんにご意見をお聞きしました。

(蓬田部会長) その場合には登校班ですよ。

(田澤部員) 登校班がちゃんと編成できるといいと思います。ある程度人数がいればいいですが、少ない所は、なるべく集団で登校するように配慮する必要があると思います。

(蓬田部会長) 体力の面とかも考えねばなりませんね。

(田澤部員) この部会は、スクールバス運行について検討する部会ですので、バス停などの検討プラス「これはぜひこんな形でやってくれるといいね」という意見を上の準備委員会に上げて、その準備委員会でも検討していただいて、最終的には推進協議会という更に上の会議があるので、そちらから提言と

いう形でもらうことになります。バス停検討の他に、この部会の意見を反映した提言が出せるといいと思います。

(蓬田部会長) 体力面プラス安全・安心面といったものを考えてですね。

(田澤部員) 先ほどの不審者対応等については、やはり、教育委員会としても対応しますし、地域の方にお願ひしなければならない所でもあります。

(蓬田部会長) 薬師寺コミュニティセンターでの地域説明会で、ボランティアについての意見がありましたが、あの方々は、ボランティア活動がなくなって欲しくないと思っているのだと思います。子どもたちと関わりたい、見ていたいという思いがあるのだと思います。スクールバスが運行になることで、我々の役割がなくなってしまうという心配もあるのかなという感じがします。ボランティアの方々の希望も叶えながら、考えていくことが大切だと思います。

その他ございますか。

(蓬田部会長) 前回3地区に分かれまして、バス停検討をしたわけですが、現地調査をしていただきましたので、事務局から説明をお願いします。

(上野CO) [資料3スクールバス停留所候補地の検討について説明]

(田澤部員) [補足説明] 地域説明会での質問事項にあった小山市立絹義務教育学校のバス停についての情報が確認できましたので報告いたします。この報告の後に、検討に入っていただきたいと思います。まず、小山の絹義務教育学校はスクールバス利用者が104名いるということです。全校生徒は200名弱ですので、各学年1クラスの学校で104名いるのですが、範囲が広いということで、19カ所のバス停を設置しているそうです。それらのバス停のうち、屋根の付いているバス停はないということです。道路のそばの空いている所が乗り場になっているということです。私たちが想定しているバス停よりも、何もない所に集合して乗っているということです。ですから、今回の検討の対象で、屋根がないとしても、他の条件が合えば、評価としては○印か△印を付けたということでご了承いただければと思います。

(蓬田部会長) それでは、学校区に分かれて検討していただきたいと思います。検討の結果につきましては、教頭先生にご説明いただきたいと思います。よろしくお願ひします。

各小学校区に分かれて協議

32分間

(蓬田部会長) そろそろよろしいでしょうか。

では、各小学校区の検討結果について地図を見ながら確認していきたいと思ひます。教頭先生からご説明をお願いします。

(人見部員) 薬師寺小学校区では、事務局の実地調査結果の評価とほぼ同じ7カ所でよいということになりました。1番及び7番は個人の所有地ということで難しいということです。5番の日生団地は無印になっているのですが、他に

候補地があるというようになっております。だいたい地区ごとに候補地が配置されていて、不適切な所はありませんでした。谷地賀地区は他の小学校区との距離の関係で、吉田東小学校の集合場所に行ってもいいのではないかという意見も出ましたが、それは今後の検討事項になると思います。

(星野部員)

吉田東小学校です。ふれあい館、鯉沼公民館、三王山公民館について、できれば、鯉沼公民館、三王山公民館に行っていたら、ふれあい館は必要ないかなと思いますが、ちょっと狭いとか、停留所が多いというときは、ふれあい館に来ていただければ、鯉沼地区と三王山地区の方は、ふれあい館で乗ってもらうのがいいのではないかということです。ただ、道路が危険な所があるので、そこに信号機が付けばという話をしました。そして、その後は、吉田東小学校、それから11番の南河内東公民館、ということで、一応、3カ所か4カ所ということで検討しました。8番の農産物加工センターは人家もなくちょっと寂しい所で、すぐ洪水になってバスも車も通れない状況になってしまうので、そこはカットということになりました。先ほど、薬師寺小の説明でもありましたが、箕輪地区という地区があるのですが、ふれあい館に行くのが一番近いと思うのですが、もともとそこは谷地賀地区なので、谷地賀地区の集合地に行くことも考えられるかなと思います。それから塚越という地区があるのですが、そこは、すぐ行くと東根地区で、吉田西小学区の方が近い感じなので、わざわざ川を渡って吉田東小学区の方で乗ることはないのではないかという意見が出ました。こちら、吉田西小学区の東根地区と一緒に乗ればいかなと思っています。

(橋本部員)

吉田西小学区です。当初の候補地として16カ所挙げましたが、かなり絞れました。1番、2番に関しては、吉田東小からも説明がありましたが、塚越地区が入ってもいいよということで、1番か2番のどちらかで1カ所、それから、吉田西小学校で1カ所、学校の南の方に絹板とか絹板台という地区があるのですけれども、そちらに関しては、14番の別処山公園の駐車場を利用できればいいかなと考えました。それから、本校の西の方に西坪山地区がありますが、そちらに関しては西坪山公園、リサイクルセンターが最近できましたけれども、そちらで1カ所。全部の候補地としては、16カ所を、4カ所ないし5カ所ということで考えられればいかなということです。それぞれのバス停には、子どもたちが徒歩で15分から20分以内で行ける距離が望ましいかなということで考えてみました。

(蓬田部会長)

ありがとうございました。事務局の方から何かありますか。

(田澤部員)

薬師寺小学区は、同地区に候補地が2つあって、今のところはそれも含めて7カ所ということですね。

(森口主幹)

いえ、1カ所ずつです。評価の○と△は、各地域1カ所ずつになっています。それで7カ所です。

(上野CO)

6丁目の水道局周辺の児童は、6丁目公民館まで来てもらってもいいかもしれませぬ。

(蓬田部会長)

皆さんの方から何か、他の学区に関してお聞きしたいことがありますか。最終的には、いろいろな調整にはなってくると思いますが、今後、この

ような検討の仕方で行っていくということではよろしいでしょうか。
今日の検討の結果をもとに、事務局の方で検討していただき、案を練って
いただきたいと思います。
では、本日の作業については、これで終了させていただきます。